

## 第96回 地区内中小企業景気動向調査結果

(平成24年10～12月期実績・平成25年1～3月期見通し)

1. 調査時点 平成24年12月3日～12月14日
2. 調査対象企業数 174社中回答 174社 回答率100.0%

区分	調査対象企業の範囲	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率 (%)
製造業	従業員 300人以下	39	39	100.0
建設業	〃	43	43	100.0
卸売業	従業員 100人以下	7	7	100.0
小売業	従業員 50人以下	54	54	100.0
サービス業	〃	31	31	100.0
合計		174	174	100.0

### 3. 調査方法

当金庫調査員の面接聞き取りによる感触調査です。

調査対象企業は、当金庫の営業区域（新冠町～広尾町）内に所在する企業とし、その抽出は、各業種・規模等の基本属性の構成が、調査対象母集団の属性に見合う一定基準に基づいて有意抽出で行っています。

### 4. 分析方法

各質問項目で「増加（上昇）」したと回答した企業の全体に占める構成比と、「減少（下降）」したと回答した企業の全体に占める構成比との差（判断指数・DI値）を中心にして分析を行っています。

なお、同時に信金中央金庫 地域・中小企業研究所が行う、全国調査結果と地区内との比較分析を行っています。

### 5. お問い合わせ先

日高信用金庫 業務部地域貢献課 (TEL. 0146-22-4114、内線621)  
〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31番地2

## 全業種総合 174 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

### □ 概 況

今期 (平成 24 年 10~12 月期) の業況判断D Iは△34.5 と、前期 (平成 24 年 7~9 期) 比 5.7 ポイント上昇した。3 四半期連続の改善となっている。製造業、卸売業で改善がみられたが、建設業、小売業、サービス業は、ほぼ横ばいの業況となっている。

売上額D I △24.1 は、前期比 1.7 ポイント下降、収益D I △9.1 は、同比 4.6 ポイント上昇している。業種別にみると、小売業、製造業は売上額、収益ともに改善している。卸売業では売上額は下降し、収益は横ばいとなっている。建設業、サービス業は売上額、収益とも下降となっている。

来期 (平成 25 年 1~3 月期) の予想業況判断D Iは△59.9 と、今期実績比 25.4 ポイントの下降見通しとなっている。業種別にみると、全ての業種で悪化を見通している。卸売業△71.5、サービス業△64.6、小売業△59.2、建設業△58.1、製造業△56.5 の順に悪化を見通している。

### 【業種別天気図】

業種	地 区 内				北 海 道	全 国
	24 年 4~6 月	24 年 7~9 月	24 年 10~12 月	25 年 1~3 月見通	当 期	当 期
総 合						
製 造 業						
建 設 業						
卸 売 業						
小 売 業						
サ ー ビ ス 業						

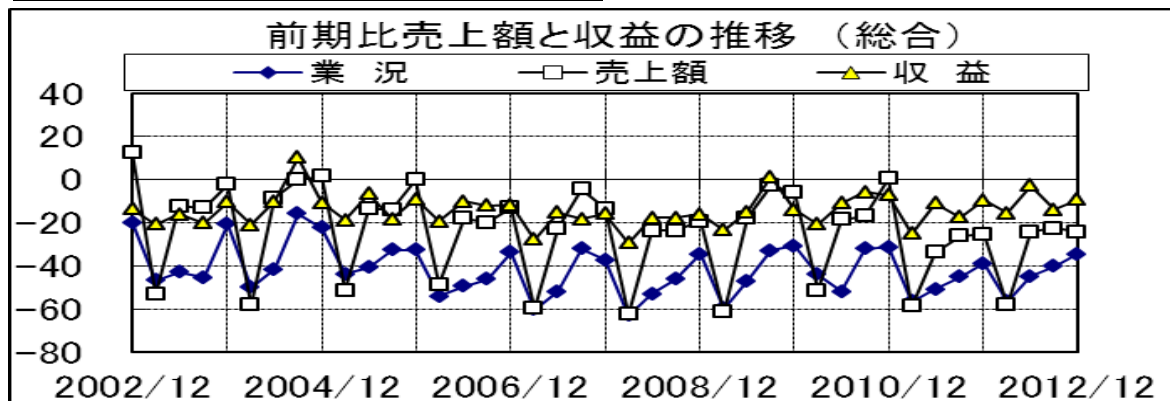
この天気図は、景気指標を総合判断して作成したものです。

## □ 景 況

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
業 況	-44.7	-40.2	-34.5	-59.9
売上額	-24.1	-22.4	-24.1	-59.8
収 益	-2.7	-13.7	-9.1	-57.0

全業種総合の今期の業況判断DIは△34.5と、前期比5.7ポイント上昇した。3四半期連続の改善。地区別に見ると、静内、浦河、様似、えりも、広尾地区で上昇、三石地区はほぼ横ばいの動きとなっている。

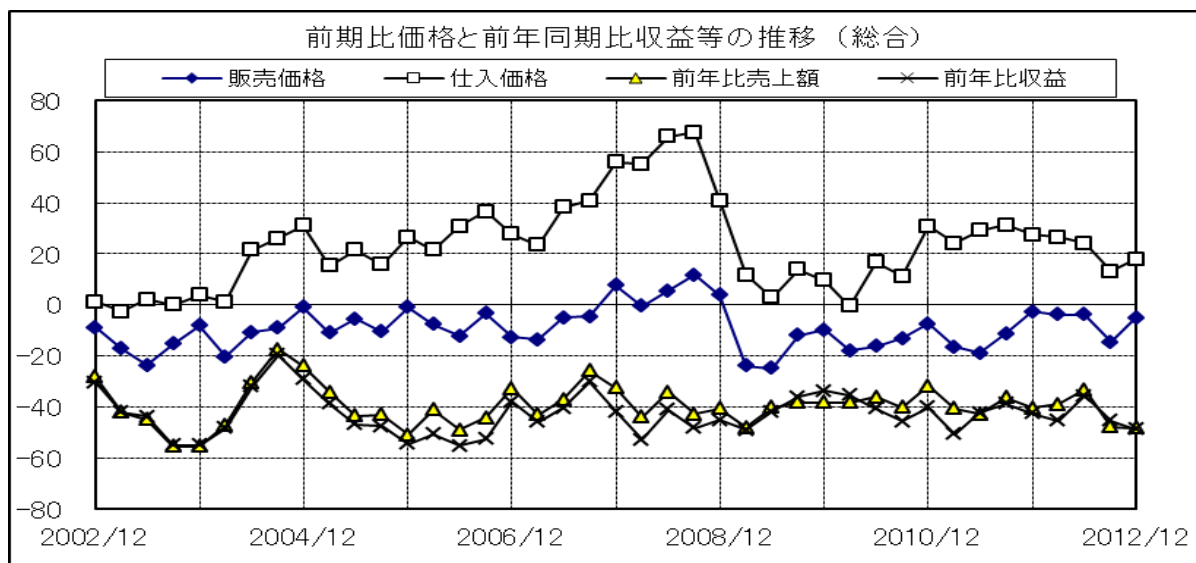
売上額判断DI△24.1は前期比1.7ポイント下降した。収益判断DI△9.1は同比4.6ポイント上昇した。



## □ 価格面、前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
販売価格	-3.9	-14.6	-5.1	-20.7
仕入価格	24.1	13.2	17.9	3.5

販売価格判断DIは△5.1と、前期比9.5ポイント上昇、価格低下基調を弱めた。仕入価格判断DIは17.9と、前期比4.7ポイント上昇、価格上昇基調を強めている。業種別にみると、販売価格は製造、建設、卸売、小売で上昇し、サービスは、ほぼ横ばいとなった。仕入価格は、製造、卸売、小売業で上昇し、建設業、サービス業は下降した。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
残業時間	-17.3	-12.6	-8.0	-21.3
人手状況	0.0	-3.4	-10.3	1.2

残業時間判断DIは△8.0と、前期比4.6ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断DIは△10.3と、前期比6.9ポイント下降し、人手不足感を強めた。

## □ 設備投資の動き

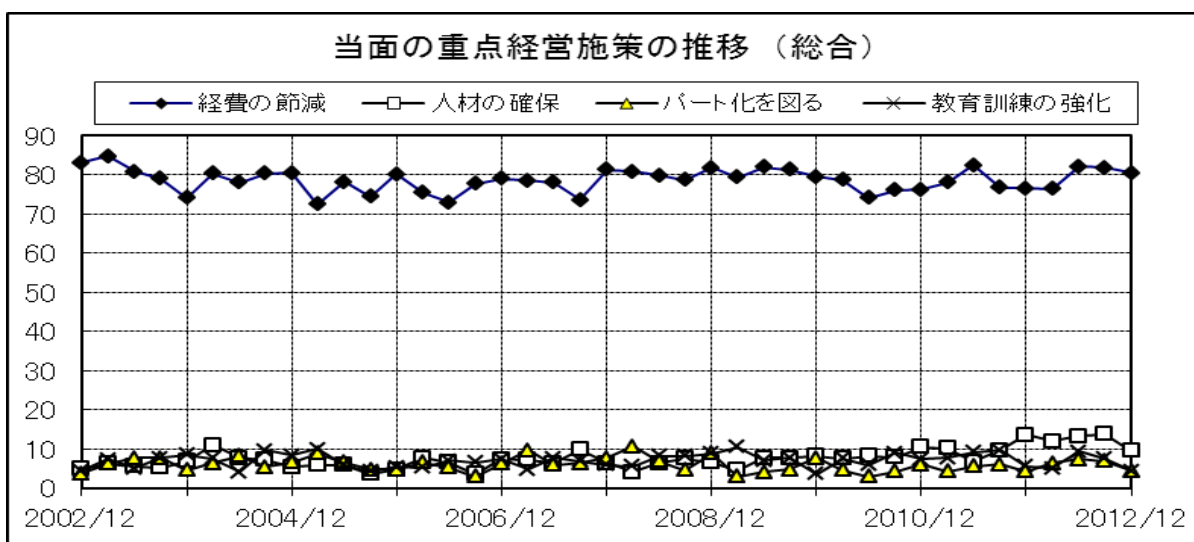
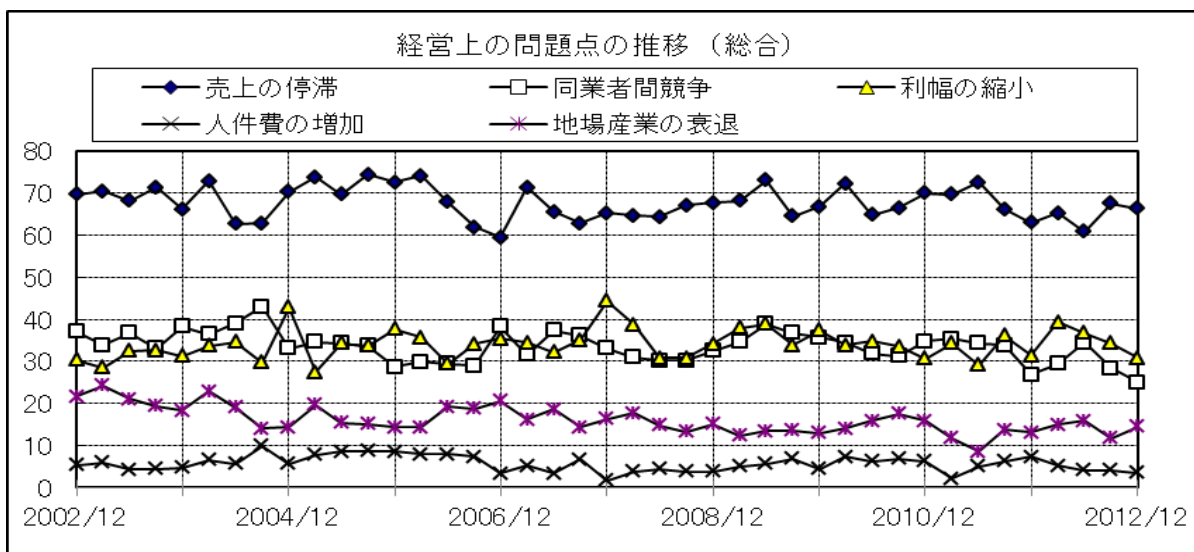
設備投資の充足感を示すD Iは△14.4 と、前期△12.0 から2.4 ポイント下降、不足感を強めている。

設備投資実施企業割合は13.2%と、前期17.2%から4.0 ポイント下降、前期の30社に対し23社の実施となった。来期の設備投資は、14社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」が66.3%で最も多く、次いで「利幅の縮小」30.8%、「同業者間との競合」25.0%、「地場産業の衰退」14.5%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」が80.4%で突出している。次いで「人材の確保」9.5%、「教育訓練強化」、「パート化を図る」が同率の4.4%となっている。また、「特になし」とするものが9.2%あった。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△59.9 と、今期比25.4 ポイント下降の見通しとなっている。

予想売上額判断D Iは△59.8 と、今期比35.7 ポイント下降の見通しとなっている。予想収益判断D Iは△57.0 と、今期比47.9 ポイントの下降を見通している。予想販売価格判断D I △20.7 は、今期比15.6 ポイント下降し価格低下基調が強まる見通しとなっている。また、予想仕入価格判断D Iは3.5 と、今期比14.4 ポイント下降し、価格上昇基調が弱まる見通しをしている。

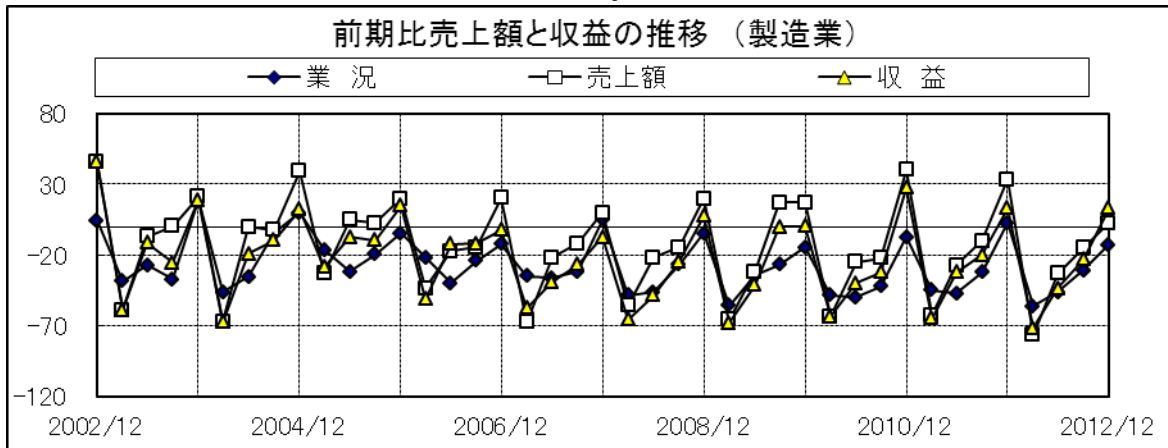
# 製造業 39企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

## □ 景 況

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
業 況	-46.2	-30.8	-12.9	-56.5
売上額	-33.3	-15.3	2.6	-61.5
収 益	-43.6	-23.1	12.9	-61.6

今期の業況判断DIは△12.9と、前期比17.9ポイント上昇した。3期連続の改善となった。浦河、三石、えりも地区で上昇したが、広尾地区で下降、静内、様似地区は、ほぼ横ばいとなっている。

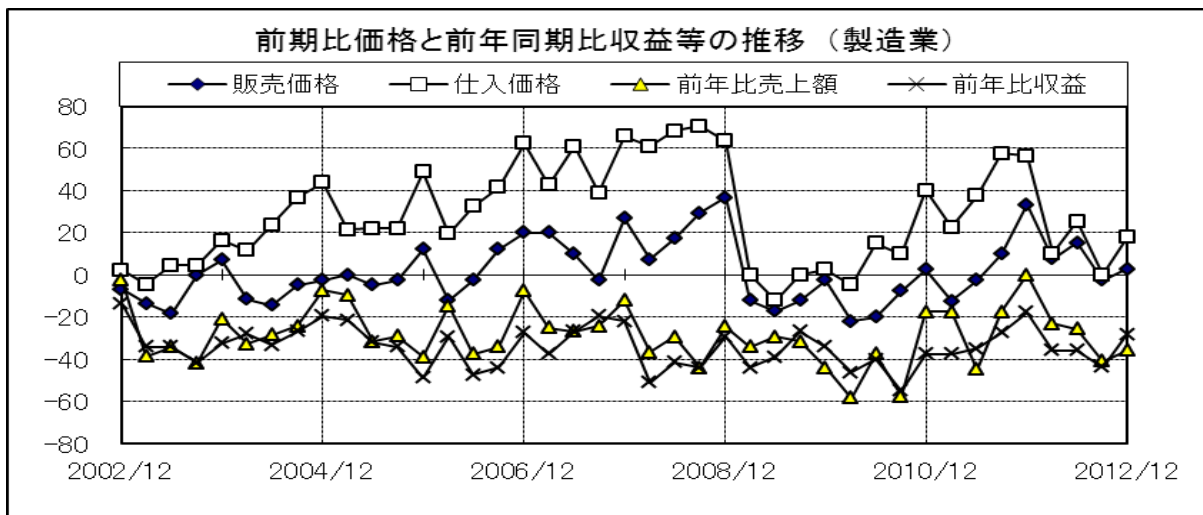
売上額判断DIは2.6と、前期比17.9ポイント、収益判断DIは12.9と同比36.0ポイント、ともに上昇した。



## □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
販売価格	15.3	-2.6	2.7	-12.8
仕入価格	25.5	0.0	17.9	-2.6

販売価格判断DIは2.7と、前期比5.3ポイントの上昇となり、価格上昇基調に転じた。仕入価格判断DIは前期ゼロ水準から17.9ポイントとなった。業種別にみると、食品、木材で販売価格、仕入価格ともに上昇した。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
残業時間	-20.4	-5.1	0.0	-28.2
人手状況	2.6	-10.2	-2.5	5.1

残業時間判断DIは、前期比5.1ポイント上昇。残業時間が減少したとする企業割合がゼロ水準となった。人手過不足判断DIは△2.5と、前期比7.7ポイント上昇し、人手不足感を弱めている。

## □ 設備投資の動き

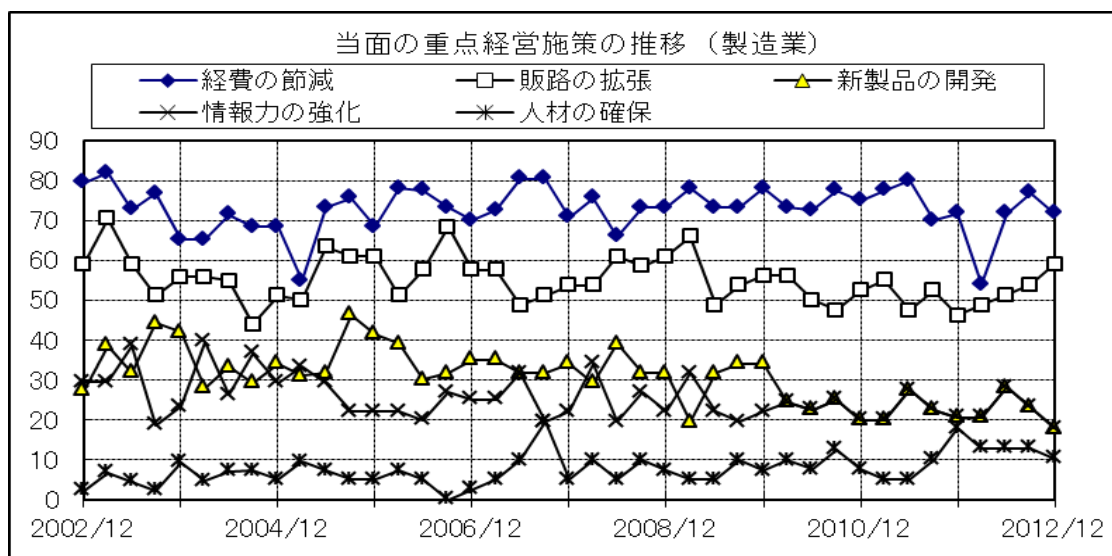
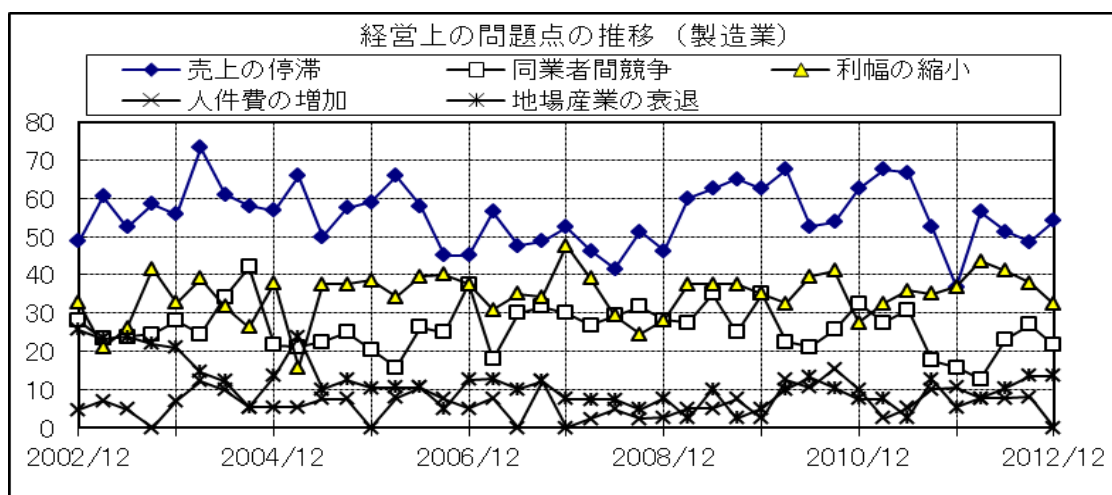
設備投資の充足感を示すD Iは△15.4と、前期比横ばいの値となった。

設備投資実施企業割合は10.3%と、前期比7.6ポイント下降し、前期の7社に対し4社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ54.1%、次いで「利幅の縮小」32.4%、「原材料高」29.7%、「同業者との競合」が21.6%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ71.8%、次いで「販路の拡張」59.0%、「新製品を開発する」23.1%、「情報力を強化する」17.9%、「提携先を見つける」12.8%の順となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△56.5と、今期比43.6ポイントの下降見通しとなっている。予想売上額判断D I △61.5は、今期比64.1ポイントの大幅な下降を見通している。また、予想収益D Iも△61.6と、今期比74.5ポイントの大幅な下降見通しとなっている。予想販売価格判断D Iは△12.8と、今期比15.5ポイントの下降見通しとなっている。予想仕入価格判断D I △2.6は、今期比20.5ポイントの下降を見通し、予想販売価格・仕入価格判断D Iともに価格低下基調見通しとなっている。